

家庭で学習する習慣を身に付けましょう

長門市立日置小学校

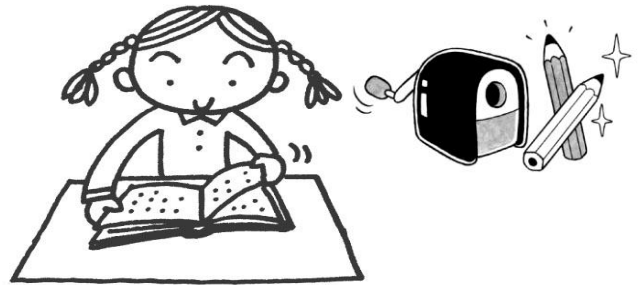
学校では、子どもたちの「生きる力」を育むことを目指して教育をしています。小学校の学習は、将来社会人として自立するための基礎となる、特に「聞くこと」「話すこと」「伝え合うこと」「書くこと」「計算すること」「調べること」などの基礎学力に関する指導を大切にしています。

日置小学校では、「やればできる」という達成感、「やってよかった」という満足感のある授業づくりや、「朝読書」や「みのりタイム」などを通して、基礎学力を高めるために努力や工夫を続けています。

そこで、ご家庭でもこの基礎学力が定着していくように、家庭学習について見直していただけたらと思います。各個人に合わせた内容を考えるための資料として、「家庭学習のすすめ方」(裏面)を作成しました。各家庭の事情やお子さんの実態に合わせて、家での約束を話し合いながら活用していただければと思います。

1 家庭学習のねらい

- 復習・予習により、学習内容の定着を図ります。
- 自分から学習に取り組む習慣を身に付けます。
- 継続して学習する態度を身に付けます。
- 翌日の準備をする習慣を身に付けます。



2 学習時間の目安(宿題を含めて)

1年生の段階から、時間を決めて忘れずにするようにしましょう。お子さんの実態に合わせて少しずつ時間を増やしていきましょう。そして、小学校卒業までに「1時間以上の家庭学習」が習慣化できていることを目標としましょう。

低学年：20分以上
中学年：30～40分
高学年：50～60分

3 集中してできるように環境を整えましょう

- 勉強する場所を決め、机の上を整理整頓してきれいにしておかせましょう。
- 必要な学習用具をきちんとそろえさせましょう。
- 学習する時は、テレビやゲームのスイッチを切って、静かな環境をつくりましょう。
「ながら勉強」は集中できません。「〇時～〇時は、テレビを消す時間」「ゲームは〇分」など、家庭の事情に合わせた約束をつくってみてください。

4 やる気を出させるように声かけをしましょう

- ほめたり励ましたりしながら、「やればできる」という気持ちをもたせ、子どものやる気を高めていきましょう。
- お友達と比べるのではなく、本人としてがんばっているところをしっかりとほめてください。
- 進み具合やつまずいているところについて、「がんばっているね、〇〇のところが難しいね。教科書を見てみようか。」などの声かけをし、相談にのってください。

5 担任と連絡を取り合しましょう

- 分からないこと、困ったことなどは、気軽に担任に相談してください。
- それぞれのご家庭にあったよりよい学習の方法を一緒に考えましょう。
- 家庭でがんばっていることなど、どしどし担任に教えてください。
- 家庭と担任が協力することで、子どものよさをさらに伸ばしましょう。

日置小学校では、家庭学習で使うノートを「学びノート」とよんでいます。

